

平成 19 年 3 月期 第 1 四半期財務・業績の概況(非連結)



平成 18 年 8 月 2 日

会社名 ウルシステムズ株式会社

(URL <http://www.ulsystems.co.jp/>)

(JASDAQ・コード番号 3798)

代表者 代表取締役社長 漆原 茂

TEL:(03) 6220 - 1416

問合せ責任者 取締役兼 CFO 高橋 敬一

1. 四半期財務情報の作成等に係る事項

会計処理の方法における簡便な方法の採用の有無： 有
税金費用の計算は、簡便な方法により計上しております。
最近会計年度からの会計処理の方法の変更の有無： 無

2. 平成 19 年 3 月期第 1 四半期財務・業績の概況(平成 18 年 4 月 1 日～平成 18 年 6 月 30 日)

(1) 経営成績の進捗状況

(百万円未満切捨)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期(当期)純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
19 年 3 月期第 1 四半期	246	-	59	-	59	-	32	-
18 年 3 月期第 1 四半期	-	-	-	-	-	-	-	-
(参考)18 年 3 月期	1,582		239		208		194	

	1 株当たり四半期(当期)純利益		潜在株式調整後 1 株当たり四半期(当期)純利益	
	円	銭	円	銭
19 年 3 月期第 1 四半期	2,202	66	-	-
18 年 3 月期第 1 四半期	-	-	-	-
(参考)18 年 3 月期	16,023	84	15,829	82

(注) 1. 平成 19 年 3 月期より第 1 四半期財務諸表を作成しているため、前年同四半期実績及び増減率については記載しておりません。

2. 期中平均株式数 19 年 3 月期第 1 四半期 14,591 株、18 年 3 月期 12,157 株

3. 平成 19 年 3 月期第 1 四半期の潜在株式調整後 1 株当たり四半期純利益については、第 1 四半期純損失を計上しているため記載しておりません。

[経営成績の進捗状況に関する定性的情報等]

当第 1 四半期の経営成績及び業績の先行指標である平成 18 年 6 月末現在の受注残高は以下のとおりとなり、概ね計画どおりの進捗となりました。

売上高 246 百万円
経常損失 59 百万円
第 1 四半期純損失 32 百万円
受注残高 499 百万円

当第 1 四半期において特筆すべき事項は下記のとおりです。

・当社の基幹事業であるナレッジベース・ソリューション事業(KBS 事業)は、業界の特性と売上計上基準に完成基準を採用していることにより、9 月及び 3 月に売上が偏る傾向にあります。このため、例年、上半期(4 - 9 月期)については、4 - 6 月期よりも 7 - 9 月期に売上が集中する傾

向にあり、当社の売上計画もこれを反映した計画となっております。

- ・KBS事業については、前事業年度から引き続き流通業、製造業及び情報サービス業の顧客企業からの堅調な需要に支えられ、概ね順調に進捗しております。なお、採用計画についても、依然として環境は厳しいものの順調に推移しております。
- ・一方、プロダクトベース・ソリューション事業の主力製品であるUMLaut/J-XMLの開発状況については、前事業年度において開発を開始していたバージョン1.2のさらなる機能強化を図るため、バージョン1.3.0の開発に7月から着手しており、12月には完成する予定です。また、販売面では当事業年度下期からの本格的なエンドユーザーへの販売開始に向け販売体制の整備を順調に進めております。

(2) 財政状態の変動状況 (百万円未満切捨)

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産	
	百万円	百万円	%	円	銭
19年3月期第1四半期	2,378	2,182	91.7	148,823	11
18年3月期第1四半期	-	-	-	-	-
(参考)18年3月期	2,478	2,197	88.7	151,268	75

(注) 1. 期末発行済株式数 19年3月期第1四半期 14,662株 18年3月期 14,526株

[財政状態の変動状況に関する定性的情報等]

総資産は、前事業年度末より99百万円減少し2,378百万円となりました。これは、仕掛品の増加(95百万円の増加)やソフトウェア製品(UMLaut/J-XML)への投資の増加による無形固定資産の増加(31百万円の増加)等があったものの、前事業年度末の売掛金の回収に伴い売掛金が大幅に減少(294百万円の減少)したことが主な要因です。

純資産は、前事業年度末より15百万円減少し、2,182百万円となりました。これは、ストックオプションの行使に伴う資本金及び資本剰余金の増加(16百万円の増加)と第1四半期純損失の計上(32百万円)が要因です。

(3) キャッシュ・フローの状況 (百万円未満切捨)

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
19年3月期第1四半期	70	745	16	1,095
18年3月期第1四半期	-	-	-	-
(参考)18年3月期	10	107	1,255	1,753

[キャッシュ・フローの状況に関する定性的情報等]

現金及び現金同等物の当第1四半期末の残高は、前事業年度末より658百万円減少し、1,095百万円となりました。当第1四半期の各キャッシュ・フローの状況は以下のとおりです。

営業活動によるキャッシュ・フローは、70百万円の純収入となりました。税引前第1四半期純損失の計上により59百万円、法人税等の支払により67百万円、仕掛品の増加により95百万円の減少した要因が発生したものの、売掛金の回収により294百万円増加したことが主な要因です。

投資活動によるキャッシュ・フローは、745百万円の純支出になりました。外部販売目的のソフトウェア製品UMLaut/J-XMLへの投資額43百万円の支出に加え、余資の効率的運用を目的とする債券購入に伴い696百万円を支出したことが主な要因です。

財務活動によるキャッシュ・フローは、16百万円の純収入となりました。これは、ストックオプションの行使による増加です。

3. 平成19年3月期の業績予想（平成18年4月1日～平成19年3月31日）

	売上高	経常利益	当期純利益
	百万円	百万円	百万円
中間期	749	32	17
通期	1,900	210	114

（参考）1株当たり予想当期純利益（通期） 7,775円20銭
平成18年6月30日現在の発行済株式総数 14,662株

〔業績予想に関する定性的情報等〕

平成18年5月15日に発表した平成19年3月期業績予想は上記のとおりであり、現時点で当該予想に変更はありません。

しかしながら、ナレッジベース・ソリューション事業では、受注のタイミングや検収時期及びプロフェッショナル・スタッフの採用状況等が、プロダクトベース・ソリューション事業では、UMLaut/J-XMLの販売体制の整備状況や開発進捗状況並びに受注・出荷タイミング等が業績予想に影響を与える未確定要素として現時点で考えられ、それぞれの要素が具体化した時点で必要に応じて業績予想の修正を行う予定です。

なお、上記業績予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成されています。最終の業績は上記記載の要因以外にも今後の様々な要因によって予想数値と異なる結果となる可能性があります。この業績予想に全面的に依拠して投資等の判断を行うことは差し控えてください。

<参考情報>

第1四半期及び前事業年度の事業別売上高、受注高及び受注残高の状況は以下のとおりです。

事業別売上高

（百万円未満切捨）

事業別	当第1四半期 （自平成18年4月1日 至平成18年6月30日）		前事業年度 （自平成17年4月1日 至平成18年3月31日）	
	金額	構成比	金額	構成比
ナレッジベース・ソリューション事業	245	99.5	1,485	93.9
プロダクトベース・ソリューション事業	1	0.5	96	6.1
合計	246	100.0	1,582	100.0

（注）上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

事業別受注高

（百万円未満切捨）

事業別	当第1四半期 （自平成18年4月1日 至平成18年6月30日）		前事業年度 （自平成17年4月1日 至平成18年3月31日）	
	金額	構成比	金額	構成比
ナレッジベース・ソリューション事業	479	99.8	1,404	93.5
プロダクトベース・ソリューション事業	1	0.2	96	6.5
合計	480	100.0	1,501	100.0

（注）1. 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

2. 受注高は、作業指示書入手済の案件を記載しております。

事業別受注残高

(百万円未満切捨)

事業別	当第1四半期末 (平成18年6月30日)		前事業年度末 (平成18年3月31日)	
	金額	構成比	金額	構成比
ナレッジベース・ソリューション事業	499	100.0	265	100.0
プロダクトベース・ソリューション事業	-	-	-	-
合計	499	100.0	265	100.0

(注) 1. 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

2. 受注残高は、作業指示書入手済の案件を記載しております。

〔添付資料〕

1.(要約)四半期財務諸表

(1)(要約)四半期貸借対照表

(単位：千円)

区 分	当第1四半期末 平成18年6月30日現在		前事業年度の 要約貸借対照表 平成18年3月31日現在	
	金 額	構成比 (%)	金 額	構成比 (%)
(資産の部)				
流動資産				
1. 現金及び預金	1,095,251		1,753,662	
2. 売掛金	128,313		422,906	
3. 仕掛品	95,738		-	
4. 前払費用	24,563		22,055	
5. 繰延税金資産	77,630		50,172	
6. その他	4,439		4,326	
流動資産合計	1,425,936	59.9	2,253,122	90.9
固定資産				
1. 有形固定資産	35,006		35,591	
2. 無形固定資産	111,901		80,434	
3. 投資その他の資産				
投資有価証券	696,945		-	
その他	109,022		109,022	
投資その他資産合計	805,967		109,022	
固定資産合計	952,874	40.1	225,048	9.1
資産合計	2,378,811	100.0	2,478,171	100.0

(単位：千円)

区 分	当第1四半期末 平成18年6月30日現在		前事業年度の 要約貸借対照表 平成18年3月31日現在	
	金 額	構成比 (%)	金 額	構成比 (%)
(負債の部)		%		%
流動負債				
1. 未払金	24,161		44,330	
2. 未払費用	88,823		68,073	
3. 前受金	1,861		803	
4. 未払法人税等	2,442		73,540	
5. 未払事業所税	967		3,158	
6. 未払消費税等	6,391		19,838	
7. 預り金	26,711		5,965	
8. 賞与引当金	44,160		63,704	
9. 品質保証引当金	1,247		1,363	
10. 新株引受権	-		63	
流動負債合計	196,767	8.3	280,841	11.3
負債合計	196,767	8.3	280,841	11.3
(資本の部)				
資本金	-	-	794,190	32.1
資本剰余金	-	-	1,134,555	45.8
利益剰余金	-	-	268,584	10.8
資本合計	-	-	2,197,329	88.7
負債・資本合計	-	-	2,478,171	100.0
(純資産の部)				
株主資本			-	-
1. 資本金	802,585	33.7	-	-
2. 資本剰余金	1,142,964	48.1	-	-
3. 利益剰余金	236,445	9.9	-	-
株主資本合計	2,181,994	91.7	-	-
新株引受権	50	0.0	-	-
純資産合計	2,182,044	91.7	-	-
負債及び純資産合計	2,378,811	100.0	-	-

(2)(要約) 四半期損益計算書

(単位：千円)

科目	当第1四半期 (自平成18年4月1日 至平成18年6月30日)		前事業年度の要約損益計算書 (自平成17年4月1日 至平成18年3月31日)			
	金額	百分比 (%)	金額	百分比 (%)		
売上高		246,913	100.0		1,582,433	100.0
売上原価		177,884	72.0		835,378	52.8
売上総利益		69,028	28.0		747,055	47.2
販売費及び一般管理費		128,047	51.9		507,330	32.1
営業利益		59,018	23.9		239,725	15.1
営業外収益						
受取利息	294			5		
新株引受権戻入益	-			75		
その他	0	294	0.1	29	110	0.1
営業外費用						
新株発行費	300			4,407		
公開関連費用	-	300	0.1	26,671	31,078	2.0
経常利益		59,024	23.9		208,756	13.2
特別損失						
固定資産除却損	-	-	-	1,903	1,903	0.1
税引前第1四半期(当期)純利益		59,024	23.9		206,852	13.1
税金費用		26,885	10.9		12,051	0.8
第1四半期(当期)純利益		32,138	13.0		194,801	12.3
前期繰越利益		268,584			73,782	
第1四半期(当期)未処分利益		236,445			268,584	

(3)(要約) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

		当第1四半期 (自平成18年4月1日 至平成18年6月30日)	前事業年度の要約 キャッシュ・フロー計算書 (自平成17年4月1日 至平成18年3月31日)
区 分	注記 番号	金 額	金 額
営業活動によるキャッシュ・フロー			
税引前第1四半期(当期)純利益(純損失：)		59,024	206,852
減価償却費		16,753	39,069
新株引受権戻入益		-	75
賞与引当金の増減額(減少：)		19,543	10,055
品質保証引当金の減少額		115	4,796
受取利息		294	5
固定資産除却損		-	1,903
売上債権の増減額(増加：)		294,593	274,061
たな卸資産の増減額(増加：)		95,738	20,432
前払費用の増減額(増加：)		2,508	1
その他資産の増減額(増加：)		956	566
未払金の増減額(減少：)		19,126	7,030
未払費用の増減額(減少：)		20,750	21,251
未払消費税等の増減額(減少：)		13,447	4,365
前受金の増減額(減少：)		1,057	803
預り品の増減額(減少：)		20,745	1,027
未払事業所税の増減額(減少：)		2,191	2,097
未払法人税等の増減額(減少：)		4,475	734
小計		138,392	6,782
利息の受取額(経過利息の支払額：)		906	5
法人税等の支払額		67,194	4,050
営業活動によるキャッシュ・フロー		70,291	10,827
投資活動によるキャッシュ・フロー			
有形固定資産の取得による支出		4,633	13,108
無形固定資産の取得による支出		44,044	94,861
投資有価証券の取得による支出		696,815	-
投資活動によるキャッシュ・フロー		745,492	107,970
財務活動によるキャッシュ・フロー			
株式の発行による収入		-	1,202,500
ストックオプションの行使による収入		16,790	53,380
財務活動によるキャッシュ・フロー		16,790	1,255,880
現金及び現金同等物に係る換算差額		-	-

現金及び現金同等物の増減額(減少：)	658,410	1,137,082
現金及び現金同等物の期首残高	1,753,662	616,580
現金及び現金同等物の 第1四半期期末(当期末)残高	1,095,251	1,753,662